



長野堰広域協定（群馬県高崎市）

- 本地域は、世界かんがい施設遺産に選定された長野堰用水の受益であり、本交付金で施設の保安全管理や「長野堰用水」を活用した活動を実施。
- 土地改良区が中心となって広域活動組織を設立。土地改良区は事務局として広域活動組織に参画し、農業者の負担軽減を図るとともに各種活動の企画や助言等を行っている。
- 小学校や自治会と連携して、「長野堰用水」の景観形成活動を実施しているほか、長野堰用水をより多くの人に知ってもらうためにウォーキングイベントを開催し、施設の魅力を発信。

【地区概要】

- ・取組面積 362ha
(田362ha)
- ・資源量 水路46.1km、農道17.3km、
ため池2箇所
- ・主な構成員 農業者、土地改良区、
自治会等
- ・交付金 約19百万円(R1)
〔 農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化) 〕

活動開始前の状況や課題

- 平成28年度に長野堰用水が世界かんがい施設遺産に登録された。
- 長野堰用水は農業用水だけでなく、市街地全域の防火用水及び環境美化用水等に利用されていることから、地域では施設の魅力を発信していきたいと考えていた。
- 地域のまとめ役がいなかったことや事務負担を理由に本交付金を実施できないでいた。
- 長野堰用水の幹線水路は土地改良区が保安全管理し、下流は慣習的に地域の農業者が中心となって保安全管理してきたが、農業者の高齢化や減少に伴い、管理が困難になっていた。



世界かんがい施設遺産に選定された長野堰用水

取組内容

- 地域資源を地域が一体となって保安全管理していくために、平成30年度に土地改良区が中心となって広域活動組織を設立し、事務局として参画。
- 長野堰用水に親しんでもらうため、地域の小学生と円筒分水周りの景観形成活動として植栽を実施。
- 長野堰用水をより多くの人に知ってもらうためにウォーキングイベントを開催。
- 自治会と連携して、長野堰用水の土砂上げやゴミ拾い等の保安全活動を実施。



ウォーキングイベントの様子



清掃活動の様子

取組の効果

- 活動を通じて、子どもたちや地域住民に長野堰用水の歴史や役割を知ってもらう機会を設けることができた。
- 地方紙に本交付金の活動を取り上げてもらうことで長野堰用水や地域の魅力を発信できた。
- 土地改良区が事務局を担うことで、農業者の負担軽減が図られ、農業者は活動に専念できた。
- 本交付金の活用により集落の枠を越えて、農業者、非農業者が協力して施設の保安全管理を実施できた。



植栽活動の様子



市内を流れる長野堰用水